

平成24年度 予算

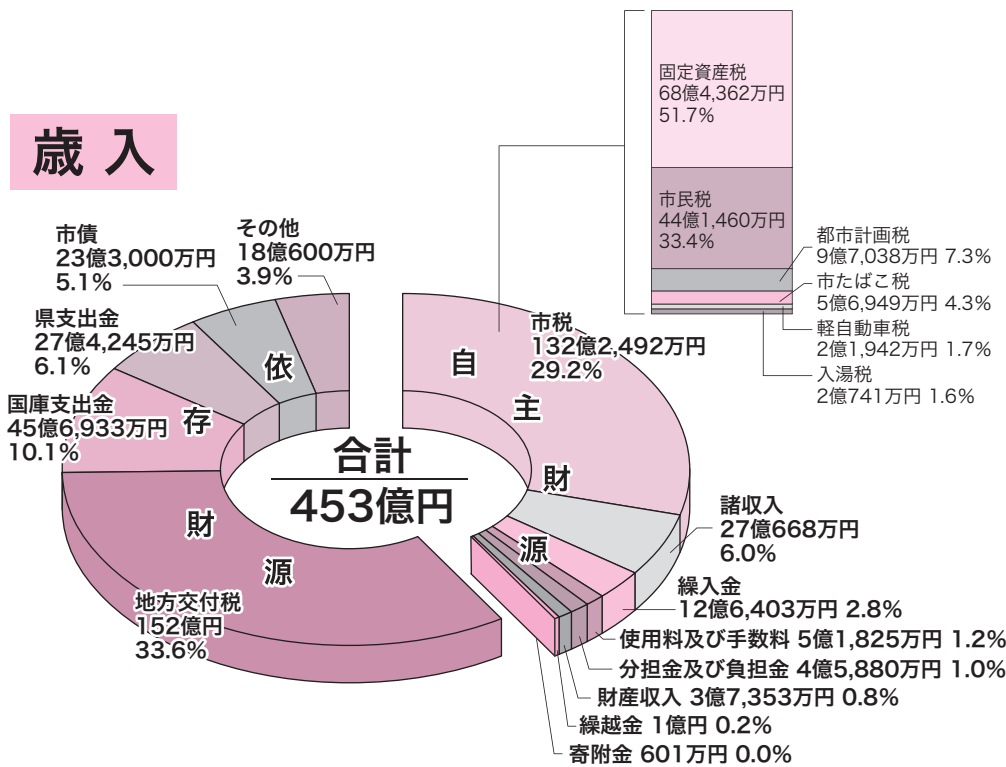
新しい高山をつくる 一般会計453億円の新年度予算

環境政策や海外戦略など、各種施策を積極的に 組み込む予算編成

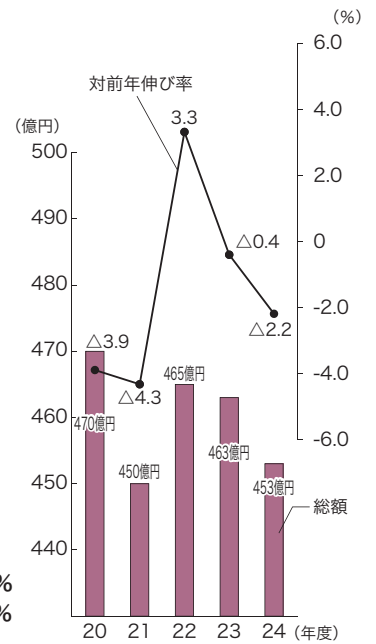
市では、2月28日に開会した市議会定例会に、一般会計453億円、特別会計・企業会計280億円の平成24年度予算案を提出しました。

総合計画に定める本市の将来像“やさしさと活力にあふれるまち「飛驒高山」”の形成を目指し、社会経済情勢の変化に対応するとともに、誰もがすみよさを実感し、元気で安全で安心して暮らせるまちとなるよう、各種施策のバランスに配慮した予算編成としました。

歳入



●一般会計当初予算の推移



また、市民の皆様から頂いたご意見・ご要望にできる限りお応えするため、あらゆる分野に目を配り、細やかな施策を積極的に組み込むとともに、現下の厳しい経済情勢に配慮し、引き続き景気・雇用対策に取り組んでいくこととしています。

さらに、人口減少や少子化社会の到来を踏まえた子どもを産み育てやすい環境づくり、誰もが健康で生きがいをもって暮らすことができる福祉・保健・医療の充実、防災対策、教育環境の整備、地域振興、行政情報の公開など、各種施策にも重点を置いた予算配分を行っており、一層の市民福祉の向上と活力ある住みやすい自立したまちの形成を図ることとしています。

新年度予算のポイント

平成24年度予算は、自然エネルギー利用日本一の環境都市を目指すための環境政策の推進と、海外とのつながりによる活気と誇りに満ちた国際都市「飛驒高山」を実現するための海外戦略の推進に関する予算を充実しました。